



至誠

勝田第三中学校 学校だより 第19号
令和6年10月11日(金)発行
文責:校長 川上徹行



勝田三中HP

前期終了！後期に向け自分の「目標」をより明確に！！

今日で今年度の前期が終わりますが、ひたちなか市の学校は3年前から年度を前期と後期に分けた2期制をとっています。中学校3年間で見ると、6期に分けられ、1年生は6分の1が、2年生は中学時代のちょうど半分を、それぞれ終了したことになります。3年生はというと、残り6分の1になったということです。時のたつのは早いです。通信票の評価、振り返った自己評価などから課題を見出し、今後の目標をよりはっきりとさせる。そして自分の可能性を信じて、できる限りの努力を継続し、「学び」続けてほしいです。



子供たちの健やかな成長のために、今後も保護者並びに関係者の皆様の応援やサポートを、よろしく願いいたします。

以下の生徒が代表として発表しました。詳細は、学年通信に掲載されますのでご覧ください。

- ・「前期を振り返って」…1年 I さん
- ・「前期を終えて思うこと」…2年 I さん
- ・「前期の反省と後期の抱負」…3年 T さん

私からは以下のような内容を式辞として伝えました。

「記録的な猛暑」という言葉を聞き飽きた、と感じるほどの暑さから、少しは過ごしやすくなってきました。季節はようやく秋を迎えています。季節の変わり目は、日ごとの気温差、朝晩の寒暖差などで体調を崩しがちです。引き続き、健康管理には十分に気を付けましょう。自分にできることは、日常生活、つまり行動を整える、言い換えれば「自分を律する」ことです。心身ともに健康な状態で、いろいろ学んでいきましょう。

代表生徒の〇さん、〇さん、〇さん、振り返り発表ありがとうございます。こうした人生の節目において、しっかりと振り返りをして課題を明らかにし、次の目標として取り組んでいくことは、とても重要なことです。これからもみんなで作っている「安心・安全な雰囲気」の勝田三中で、中学3年間がとても有意義だったと思えるように、一日一日を大切に努力を続けてほしいです。

最後に私の想いを伝えます。それは聞いたことがある人も多いと思いますが、「**為せば成る**」ということばです。これには続く言葉があり、「**為さねば成らぬ、何事も、成らぬは人の為さぬなりけり。**」となります。意味は「どんなことでもやろうと思って努力すれば、必ず実現できる。逆に、無理だと思ってあきらめ努力をしなければ、絶対に実現できない」です。受験勉強に取り組む3年生、部活動や地域クラブ活動などを頑張っている1・2年生、体育祭や合唱の練習を頑張っている人、なんだか辛いなと感じている人、それぞれいると思います。「生まれつき頭が悪いから」とか、「部活が忙しくて時間がないから」とかと、様々な「出来ない理由」を探すのではなく、「やれば出来る」と信じて、遠い目標に向かって一歩ずつ前に進む、これこそが今のみんなに大切なことです。

皆さんの保護者の方々や私たち教師、地域の方々は、これからも皆さんの頑張りを応援します

【式中や生徒会役員引継ぎ、体育祭準備での生徒たちの様子】

